

2024.6/10 例会 卓話講師紹介
『オリンピックの魅力、金メダルの取り方・取らせ方』

田口 信教（たぐち のぶたか）さん
学校法人医療創生大学 常務理事



田口 信教（のぶたか） 1951年に愛媛県生れ。広島育ち。鹿児島在住35年間。現在、いわき市在住6年目、世界新記録でオリンピック金メダリスト。広島修道大学大学院商学修士。卒業後、建設会社フジタの営業マンを経て、米国に国費留学、帰国後、国立で唯一の鹿屋体育大学の開学に合わせて招聘され、競技能力向上の研究や海洋センター長、図書館長、学長補佐など、定年退職後、医療創生大学特任教授・副学長に就任、現在、常務理事。

愛媛県西条市出身。子供のころから水泳が得意で中学から広島県へ水泳留学、尾道高校に進学し、高校2年17歳の時にメキシコオリンピック日本代表に選ばれた。21歳でミュンヘンのオリンピックでは、平泳ぎ100mで金メダル、200mで銅メダルを獲得した。オリンピックは3回連続出場。独特のピッチ泳法で日本記録や世界記録を更新、25歳で現役引退後は水泳理論の研究に没頭。アメリカのインディアナ州立大学に国費留学し、帰国後は唯一の国立体育大学である鹿児島県の鹿屋体育大学で35年間、極限環境下での影響の研究。2004年のアテネ五輪では、教え子の柴田亜衣が800m自由形で金メダルを獲得した。その後、鹿屋体育大の海洋スポーツセンター長や附属図書館長などを務め、現在は福島県いわき市の学校法人医療創生大学の常務理事として、医療にもつながるプロジェクトを進めている「今の夢は、無重力環境下の逆の環境、身体能力を高め、老化防止の可能性のある過重力環境装置をつくることです。クラウドファンディングで資金を集められないか検討しています」

総理大臣・銀杯賞 文部大臣・スポーツ功労賞 日本最優秀スポーツ賞
（読売新聞社）朝日スポーツ賞（朝日新聞）最優秀スポーツ賞（中国新聞社）愛媛新聞社賞・スポーツ賞ホワイトベア・スポーツ賞（デイリースポーツ）その他多数受賞 昭和62年 Honor Swimmer を受賞 国際水泳殿堂入（アメリカ）平成14年愛媛県西条市 名誉市民賞 鹿屋体育大学名誉教授

